

A board game for 3 players by **Néstor Romeral Andrés**

概要

レッド(Red)は3色のタイルを配置する3人用のゲームです。このゲームでの3色は黒、白、赤で、各プレイヤーは異なる色を受け持ちます。それぞれのタイルは異なる色の背景と円が描かれています。

プレイヤーはテーブル上にタイルを配置し、自分の色の背景のタイルを繋げたグループをと円のタイルを繋げたグループをつくることを目指します。

内容物

- 小さな正方形タイル 30枚 (6種類各5枚)



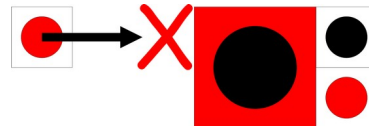
- 大きな正方形タイル 6枚 (6種類各1枚)
- カウンター 各色1個

遊び方

タイルをすべて表向きにし、種類ごとに分けて重ねてから共通の場に置きます (バリエーション: タイルを裏向きにします)。

任意の方法で各プレイヤーの色を決め、それを示すために、自分の色のカウンターを自分の前に置きます。プレイヤーの手番は白、黒、赤の順です。手番では以下のルールに従って、共通の場から自由に1枚のタイルを選んで配置します。

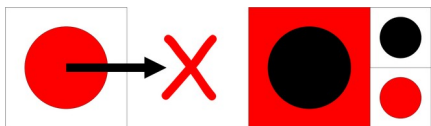
- タイルは、仮定の正方グリッドからずれないように配置しなければなりません。
- 白プレイヤーは初手で大きな正方形タイルを置けません。
- 以降は、**少なくとも1辺が小さなタイル**に隣接するように配置しなければなりません(プレイヤーはこのルールを忘れがちです)。角が接しているだけでは隣接していると見なしません。



禁じ手の例。

新たに配置するタイルは少なくとも1枚の小さなタイルに隣接しなければなりません。

- 大きなタイルは既に配置された大きなタイルと辺で隣接させることはできません(つまり、2枚の大きなタイルは角以外で接してはいけません)。



禁じられた配置の例。

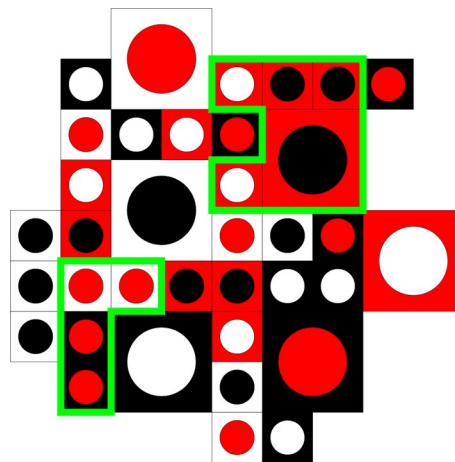
新たに配置する大きなタイルは既に配置されている大きなタイルと辺で接することはできません。

ルールに従って配置することができなくなったら、ゲーム終了です。

得点計算

小さなタイルは1点、大きなタイルは2点と数えます。

プレイヤーの色ごとに、背景色のタイルが繋がったグループと、円のタイルが繋がったグループのうち、それぞれ最も点数の高いグループの点数を数え、それら2つの点数の積がその色のプレイヤーの得点となります。



例：赤の背景色は5枚のタイルが繋がっており、1枚は大きいいため2点として数えます。赤の円は4枚のタイルが繋がっています。赤の得点は $6 \times 4 = 24$ 点です。(白は $9 \times 4 = 36$ 点、黒は $6 \times 8 = 48$ 点)

最も高得点のプレイヤーが勝利します。2人が同点なら3番目のプレイヤーが勝利します。もし3人が同点なら、もう一度遊びましょう！

2人用バリエーション

すべてのタイルを使いますが、2色だけがプレイヤーの色です。3色目は相手プレイヤーを妨害するために使います。可能な限り、相手がプレイしたタイルと異なる種類のタイル(色の組み合わせが大きさ異なるタイル)をプレイしなければなりません。